

1.会議の名称	君津市「まち・ひと・しごと創生」有識者会議
2.会議の開催日時	令和元年7月10日（水） 午後2時から午後4時50分
3.会議の開催場所	君津市役所 5階大会議室
4.会議の議題	(1) 第2期君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の策定方針（案）について (2) 千葉大学・市原市との共同研究「人口維持に向けた若者回帰戦略研究」について (3) 施策・事務事業評価について (4) 現行の君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の進捗について
5.公開又は非公開の別	公開
6.傍聴できる者の定員	30名
7.出席委員	中川茂治、齊藤茂雄、倉阪秀史、内山雅博、齋藤佳子、齊藤敦（野村進一代理）、小関常雄
8.欠席委員	関谷昇
9.出席職員	企画政策部長 安部吉司 企画政策部次長 鈴木広夫 企画課副課長 開田雅典 企画課係長 中村峰之 企画課主任主事 部田俊明
10.傍聴人の数	0名
11.発言の内容	別紙のとおり
12.備考	

### 【鈴木次長】

皆様お揃いですので、ただいまより令和元年度第一回君津市「まち・ひと・しごと創生」有識者会議を開催します。君津市会議公開の規定に基づき公開となりますが、傍聴者はありません。それでは、本会議の要綱の規定によりまして、議長の中川副市長よりご挨拶をお願いしたいと思います。

### 【中川副市長】

皆様こんにちは。4月から副市長を勤めます中川と申します。改めましてよろしくお願ひいたします。令和元年度第一回君津市「まち・ひと・しごと創生」有識者会議の開催にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。本日は大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。日頃から皆様が君津市への市政にあたりまして格別なる、ご支援、ご協力をいただいておりますことにつきましても改めて御礼を申し上げます。また、日本政策金融公庫千葉支店長の齋藤佳子様、そして千葉大学大学院社会科学研究院教授の倉阪秀史様、それぞれ今年度から新たにお引き受けくださいます、誠にありがとうございます。よろしくお願ひしたいと思います。

さて、本日ですが、現行の総合戦略が今年度をもって終了することとなりますので、次期総合戦略の策定にあたりまして、方針案について色々ご意見をいただくというのが、まず一つテーマにございます、ご承知かと思いますが、国で「まち・ひと・しごと創生」会議が先日行われまして2期目となる総合戦略を策定する基本方針が決定しております。その中に出てくるキーワードですがAIや関係人口といった言葉がございまして、他には持続可能な可能性をより追及する政策になっていくといったことがございまして、このようなことを踏まえたうえで、君津市の次期総合戦略の内容を考えていく必要がございまして、その際に、平成30年度に実施しました君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略に掲げる全事業を評価いただきまして、これまでの検証結果を踏まえて、これからの本市の地方創生の取り組みを更に推進して参りたいと考えておりますので、委員の皆様には忌憚のないご意見をいただきたくお願ひ申し上げまして挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。

### 【鈴木次長】

ありがとうございます。それでは続きまして、会議の開催にあたりまして欠席者及び代理出席の報告をさせていただきます。本日、関谷委員が都合により欠席でございます。また野村委員の代理として齊藤敦様にご出席いただいております。次にお配りした会議資料の確認をさせていただきます。資料でございますが、会議の次第、席次表、設置要綱、それと資料の右上にございます番号の1から8まで、それと後程ご説明いただきます千葉大学との共同研究に関する資料、事前に配布させていただきました事業ごとの評価シートの以上です。不足がございましたら申し出ください。よろしいでしょうか。

今回新たに委員にご就任いただきました齋藤佳子様また倉阪秀史様におかれましては委嘱状を机上配布させていただきます。今年度、最初の会議となりますので、各委員と事務局には自己紹介をしていただきたいと思います。齋藤委員から時計周りで自己紹介お願いいたします。

～委員自己紹介～

### 【鈴木次長】

ありがとうございます。それでは、事務局の自己紹介をしたいと思います。

～事務局自己紹介～

それでは、議事に入らせていただきます、本会議の設置要綱第4条第1項の規定により、副市長が議長となりますので、議事進行をお願いいたします。

### 【中川副市長】

では、さっそくですが進めさせていただきます。まず、議事に入る前に、本日の会議録署名人でございますが、内山委員を指名させていただきますので、よろしく申し上げます。それでは早速議事に入ります。議事1「第2期君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略策定方針（案）について」事務局からの説明を求めます。

**【中村係長】**

～資料に沿って説明～

**【中川副市長】**

ありがとうございました。それでは委員の皆様から意見をいただきたいと思えます。

**【小関委員】**

これまでの取り組みの検証の中には最終的には人口の減少を抑制するということがありますが、第2期については若者や女性の意見を聴取して、その方たちに留まってもらうような施策を考えていくということだと思います。君津に大学がございませんので、特に女性が高校を卒業して、女性が出ていくと必然的に男性も減っていく傾向が強くと、人口が減っていくと、君津商工会議所で分析した時もそのような結果になっていたと思います。いかに若い女性に留まっただけの魅力あるまちができるのかというのを、アンケート調査のようなものをするということによろしいでしょうか。

**【中村係長】**

意見の聴取ということですが、今後、各種団体との意見交換を行う中で、市内で積極的に活動をされているママさんグループの方々のご意見交換の機会を考慮しており、意見を踏まえながら考えていきたいというところです。

**【中川副市長】**

ありがとうございます。他にございますか。

**【内山委員】**

千葉銀行の内山です。これまでの取り組みの基本目標は変わらないことだと思うので、そうすると今回、国から示された先ほどの6項目で細かい視点で考えていかないと前回と同じような結果になります、ということだと思いますが、

市の方としても人が集まるような、例えば、2 kmの範囲には膨大な調整区域ありますので、君津に住みたいが家が見つからない方へ広い場所を提供しないと難しいのではないかと個人的には考えております。住宅ローンの関係でお客様から話を聞くと、君津市に住みたいけど住む場所がないから木更津市に住みますといった話が多いもので、色々と難しい問題だとは理解しておりますが、そのような地区、広い地域を活かして人が住むようにするといった動きは何かあるのでしょうか。

### 【鈴木次長】

調整区域につきましては、全域的には広大な調整区域でございますので、そういった場所についても中長期的に活用を考えていきたいと思っているところで

### 【齊藤茂雄委員】

私も、また今の計画の結果が出て、次の戦略を立てるとまたすぐに1年くらい経過してしまうと思うんですよ。何年か戦略をやって結果が出た中でまずやるべきことを、今千葉銀行の支店長が言われたように住みたいところがないというのが一つあると思ってます。それと、子どもが生まれても保育園だとか、次の段階が必要。君津、富津、袖ヶ浦の広報を見ると、袖ヶ浦には保育園が整備されていて、6か所できているといった情報が載ってます。君津市は若い世代の人が減っているわけですから魅力があるのかないのか聞いたらいいと思うんですね。これは、君津市の職員が君津に住みたいと思うのが基本だと思ひまして、私が思うに君津市の職員は袖ヶ浦に住んでいる人が多いように思ひまして、たしかに袖ヶ浦の方が交通の便が若干いいとは思ひますが、そこまで差はないと思ひます。私が組合長になった時は袖ヶ浦より君津の方が子どもが多かったのが、今年は袖ヶ浦の方が多くなっていて、逆転して思ひまして、若い人を呼ぶには、住む場所、次の段階の保育園や教育の場を整備して思ひますということを示さないといけないかなと思ひます。また、交流人口というのも重要で、組合では水や作物をアピールすることで、来てもらって住んで欲しいと思ひながらやっています。また、君津は猪や鹿といった野生の動物が多いというのも若い女性に

は印象が良くないので駆除についても大事なことだと思っています。

### 【中川副市長】

ありがとうございます。事務局から何かありますか。

### 【鈴木次長】

子育てについては、民間の誘致等で保育園の整備をしております。また、学校についても学校再編等で教育環境の整備をしておりますが、そのPRについては、うまくやらなくてはならないかと考えております。また、若手職員のアイデアというようなところもありますが、齊藤組合長から話があったのですが、今後、戦略の策定にあたって市長と若手職員の座談会を行う予定でして、市の魅力だとか至らない点について、座談会の中で意見交換をしていきたいと思っております。

### 【齊藤敦委員代理】

君津商工会議所の齊藤です。君津は企業誘致する場所が非常に少ないと思っております。かずさアカデミアパークと他の数か所あったかと思えます。君津は広い市域がございますので、活用できるかはわかりませんが山砂をとった跡地だとかもあります。若い世代の雇用が創出できるような企業というのがなかなか出てこないのかなと思えます。それこそ、高校生が卒業したらそのまま出て行ってしまうというのも就職する場所が非常に少ないということもありまして、若い人たちが定着するには就業する場所が重要かなと思っております。また、ちょっと気になったところですが、人口推移を見ますと平成7年には9万3千人で3万300世帯、ところが平成30年は8万5千人で人口は減少していますが、世帯数は逆に増えていますので、独身者が増えている影響なのかなと感じているところです。独身者が多いということであれば婚活イベントをして住んでもらうということもあるのかなと思えますが、市で行っている婚活事業は小規模でして、会議所では100対100の婚活事業で、カップル率48%良い成績を残していますので会議所が行う婚活事業を年1回のところを年2回に増やすため市から協力をいただけるとありがたいと思っております。

### 【中川副市長】

ありがとうございました。ご意見他にございますか。

### 【小関委員】

人を増やすということで、仕事と住宅の話がありましたが、この点は重要なことだと思います。今でも君津市には魅力的な企業がたくさんありまして、学校の先生からこの地で就業することについて伝えてもらうことが必要かなと感じております。私どもも中途採用で募集すると、一度東京に行ったけれども、合わなかったり何か理由があって戻ってきている人も相当数ございまして、時間を有効に使ったかもしれませんし、遠回りしてしまったのかもしませんが、学校の先生の働きかけもするべきではないかと感じます。

### 【中川副市長】

ありがとうございます。皆様からご意見いただければと思いますので、齋藤委員と倉阪委員からも何かご意見ございますか。

### 【齋藤佳子委員】

齋藤専務理事の話をお聞きして、男女の出会いの場の創出については商工会議所などに人やお金などを支援する形で一本化して合理化する方がいいのではないかと思います。あと、高校を卒業して大半は大学へ進学しているかと思いますが、そのまま地元の企業に就職することも重要と思います。私は地元定着に大きな括りとして3つあると思ってまして、新卒者が定住する施策が一つ、それと外に一度出た後にUターンしても戻ってくる方をターゲットにした取り組み、それから定年後に地元に戻ってくる方の3つの移住施策をしていくのはどうかなと考えています。以上です。

### 【倉阪委員】

Society 5.0やSDGsは国が書いているので、各自治体が一斉に取り組むようになるので埋没してしまうのではないかと思います。君津ならではの

の地方創生をする必要があるのではないかと考えております。また、移住定住や観光に関することが書かれていないのも特徴なのかなと思います。どのようなストーリーで訴えかけるのかを戦略の中に書いていく必要がありますので、君津に住む方あるいは若手職員の柔軟な発想で君津らしさを掘り起こす作業をお願いしたいと思います。

### 【中川副市長】

ありがとうございます。次期総合戦略策定の柱については国の動向に合わせたものになりますが、具体的な君津市のストーリーをつけて、その中に君津ならこそどういったことができるのだろうといったことを考えることとなります。今後、方針の具体的な展開を考える中では倉阪委員からご指摘いただいたところを強調することも必要であるということ踏まえつつ進めてまいります。皆様からご意見いただいておりますが、今後、施策を進めていく中での方向性、考え方についてですが、観光や交流の話が出ておりましたのである程度のパッケージ化が必要なのかなと感じております。こういった形でまとめていくと効果が出るといった提案も多かったかと思っております。特にどこにターゲットを求めたらいいか、先ほどの齋藤委員の3つターゲットや倉阪委員の君津ならではの施策といった話もございます。皆様からは具体的な施策について様々なご意見いただいておりますが、本日は方針について決めていくこととなりますので、ご意見を踏まえ策定の方針を示し、市民の方のご理解いただいたうえで、今後の展開の中でいただいた意見の実現に向けて進めていく必要があるとは認識しております。この議題につきましては方針案の方向で進め、今後は取組みの方向性をより具体的にして進めてまいります。

それでは、次の議題に入らせていただきます。議事2「千葉大学・市原市との共同研究「人口維持に向けた若者回帰戦略研究」について」について説明をお願いします。

### 【倉阪委員】

～共同研究について資料に沿って説明～



### 【中川副市長】

ありがとうございました。皆様には申し訳ございませんが、私が急遽他の会議が入ってしまいましたので、途中ですが退席させていただきます。会議の議長につきましても、設置要綱で別に定めるとありますので進行については企画政策部長の安部に任せますのでお願いします。もう一つですが、地方創生について産官学金労言ということで、まだ労の労働会の皆様や言のマスコミ関係あるいはそこに対する知識を持った方に意見をいただく形になっておりませんので、会議の体制を整えて次の総合戦略策定を進めていきたいと考えております。また、外部評価である有識者会議の議長が副市長の立場の者でいいのかということもございますので、より効果のある戦略を策定できる体制強化を図った中で、皆様にもお願いしたいと思っております。大変恐縮ではございますが退席させていただきます。

### 【安部部長】

それでは、中川副市長から話のありました通り、私が進行の続きをさせていただきます。議事2について説明ございましたが、皆様からご質問やご意見はございますか。ないようですので、長くなりましたので次の議事に入る前に、5分程度休憩とさせていただきます。

～休憩～

### 【安部部長】

皆様お揃いですので始めさせていただきます。議事3「施策・事務事業評価について」事務局からの説明をお願いします。

### 【部田主任主事】

～資料に沿って説明～

### 【安部部長】

「施策・事務事業評価について」事務局からの説明が終わりましたが、ご意見ご

質問ございますか。無いようですので、次に進めさせていただきます。それでは委員の皆様から気になる事業ありましたらいくつか選んでコメントをいただければと思います。内山委員より反時計回りでお願いします。

### 【内山委員】

まず、74番、「中小企業資金融資及び利子補給事業」ですが、こちらはある程度業績のいい中小企業が銀行の独自貸しで対応しているのが実情だと思います。保証協会付きですので若干金利は高くなるかなと思います。利子補給制度は中小企業にとってはありがたい制度になりますが、現状を見ると廃止するか変えていくことが必要かと思われま。金額が運転資金で1,500万円ということで倍は欲しいということと、一番問題なのはスピードにあると思います。具体的には協会付きの融資が月曜日に受付しますと金曜日にはOKなのか出る状況ですが、市で受け付けると月曜日に受付しても翌週の月曜日に協会に届くということですので、その後、協会の決定通知が出るのも3週間くらいはかかってしまうのかなと思います。ですので、この辺りが中小企業の資金繰りが忙しいところにしては時間的に待てないというのが問題にあると思われま。こちらについては、市の方で受けたときに例えば次の日に受付書といったもので金融機関に一旦返して協会に回してもらおうとか、金額が変わった際にはその金額として市の方は見ますよということで、決定通知を出すとか但し書きを入れるとか対応してもいいのかなと考えております。あるいは時間がないということであれば商工会議所に中小企業診断士がおりますので、そちらに回して対応をするなどができるかと思われま。他の市と比べても金額とスピードに課題があるので、改善する必要があると考えております。続きまして、84番、「君津食の彩りプロジェクト」ですが、ジビエということで書いてありますが、ぐるなびで調べると4店舗ほどしか出てこないということで、アピール不足を感じております。食ではございませんが、四国の方でジビエ石鱈というアイデアで体に良いといったものもあるので多角的な事業を進めている方がいないのかなと思っておりますし、食肉に出来ないウリボウを活用することもできないかと考えており、食以外の手法を考えてもいいのかと思われま。最後に189番の「久留里線の魅力発信事業」と190番ですが、久留里線の活性化は地元住民

に重要なこととっておりますので、里山プロジェクトも含めて引き続きとっております。久留里線について買い物や食事といった連携がないと活性化は難しいとは思いますが、例えば、非電化の路線ですので土日だけでもS Lを走らせるとかできなのかなと、このまま地域住民だけの利用では廃線になってしまうので里山プロジェクトやS Lを走らせて人を集めて、おいしいものを食べて観光してというようなことや、市原市や大多喜町との連携をとってできないのかなと考えがあります。以上3点を挙げさせていただきます。

#### 【安部部長】

ありがとうございました。事務局からございますか。

#### 【鈴木次長】

資金融資の関係は、手続き上の問題等があるかと思っておりますので、金額もありますがスピード感をもってというところが一番の話なのかと思っております。まずは、融資を希望される方への手続きについてより早くすることを担当課とも協議させていただきます。またジビエ関連ですが取り扱い店舗が少ないとありますが、君津ジビエといったことでPRをしていきたいと思っております。また、久留里線の関係では、地域住民のみの利用では縮小していくことが予想されますので、久留里線サイクルツアーの試験運行を今月27日に行いまして、今後は事業化をしたいということで千葉支社とも協議しております。そして昨年行ったサイクリイベントとも絡めつつ久留里線の活性化を図っていきたいと思っております。

#### 【内山委員】

久留里線サイクルツアーは試験運行ということで、外部には出していないのでしょうか。

#### 【鈴木次長】

サイクルツアーは試験運行でして今回一般の乗客は募集せず、沿線自治体の職員から数名ずつ参加しております。今後は料金や時間設定を検討しながら一般の方への公開になっていくのかなと考えております。

## 【安部部長】

よろしいでしょうか。では次に、倉阪委員お願いします。

## 【倉阪委員】

私が記入した内容は資料6の12番ですね、「介護予防・地域支え合い事業」です。介護事業で色々イベントをして健康づくりのため教室を作っていますけども、結果的に効果があったのかを成果指標で計る必要があると思います。イベントをやって終わりではなく、それが目標とする要介護者比率が下がるかとか、健康人口が増えるかといったところで検証する必要があります。同じように25番「妊娠・出産包括支援事業」こちらも合計特殊出生率の増加に寄与しているのか、これまでの資料を見ると合計特殊出生率は下がってきているとありますので、計画通り行えているかの検討も必要ではありますが、それが結果に結び付いているのかといった点で事業の見直しをしていかなければならないと思っております。78番「新規就農支援事業」ですが、新規就労者数は君津市の農業従事者の数として十分な目標値なのかといったところですね。平成30年度相談者10名新規就農者1名となっていますが、実際に持続的な農業を進めるうえで十分な数値かという点で目標設定をする必要があります。それから96番についてどなたもコメントがなかったようですが、観光について気になったので見たところ96番と99番が観光課の事業となっておりますが、施設の維持が難しいので見直しをしますとなっていて、目標の達成もしておらず見直し後も決まっていない状態です、これは評価できないとありますが、うまくいかないという結果を踏まえてどのような対応をするのか検討していく必要があるのかと思います。それから、105番「定住促進事業」こちらも定住希望者がいるとありますが、実際に定住に繋がっているのかというところで設定する必要があります。それと過去の相談件数とありますが、それもフォローアップをして定住に繋がっているのかで見る必要があろうかなと思います。179番再生化エネルギーについて、内容があまりにも後ろ向きじゃないかと思えます、情報収集に留まらない施策が必要ではないかということで記入しました。太陽光は事業でするには採算的にもきびしいと状況ですのでメガソーラー

をこれからやろうとする事業者は少ないかと思われます。ただし、地域の将来のために利幅がなくても、自分の貯金を回そうという人たちというのは一定程度いるはずなので、地域の子どもたちにどういふものを残していくのかを重視するので、銀行の利率よりもちょっとあればそこはお金が集まる可能性はあります。たとえば都留市でつるのおんがえし債というもので、小規模の発電所を作るためのもので予想以上にお金が集まったということもあります。太陽光のみならず山の木を活用するのに、発電は効率が悪いので山の木を熱供給のバイオマスボイラーといったものも併せて考える必要があると思います。情報収集にとどまらず、もう少し踏み込まないと日本全国として2050年80%二酸化炭素排出量をカットする動きに遅れてしまうのではないかと思います。それから181ページのところに、できませんでしたと書いてありますが、高校生と企業を繋げる、有用なイベントだと思っているので、是非ともやらなかったということではなく、やっていただきたいと思います。次に182目標設定を高くするべきではないかと思っております。183、184は色々検討してやめたとありますが、やめたので目標達成としているのは違うのではないかと。検討してやらないのであれば、別のことをしていかなければならないということになりますので、これに関しては違和感を覚えました

#### **【安部部長】**

ありがとうございました。事務局からなにかございますか。

#### **【鈴木次長】**

ただいまKPIの設定の方法等のご意見ということで承りました。確かに結果を出す以前の目標値設定というようなところが多くあるという風に思います。これから作成していく総合戦略の中で、KPIの設定の在り方について、担当課と協議してまいります。また取り組みのご意見に関しても、今後担当課と協議をしてまいりたいと考えております。

#### **【齊藤茂雄委員】**

私はJAの立場から事業を色々を見させてもらいましたが、女性なんか嫌がる

イメージのある獣の配慮、地域の関係団体と連携して行うことが必要だと思っております。それと、ジビエがないと話がありましたけれども、ジビエの料理に関して千葉県でナンバーワンになった方がいらっしゃるようでして、直売所のレストランで提供できないかと考えています。また、先ほど話をしました、きれいな水を活かした食べ物による食育、小さい頃から美味しいお米などの食べ物を食べることで、将来、君津に戻ろうと思う人が育つことも大事なのではないかと思いますのでPRをしていく必要があると考えてます。

### 【安部部長】

ご意見ありがとうございます。それでは、続きまして小関委員お願いいたします

### 【小関委員】

私が気になったところですが、46番の消防団員に関して、君津市は人口あたりの消防団員が決して少なくはなく、100名に1人ぐらいで、隣の木更津市は200名に1人ぐらいです。木更津市は市内に大学があるので大学の消防団員がありますが、君津市には大学がないので、高校生への支援というのも考えてもいいのではないかと考えております。76番の「企業誘致推進事業」ですが、先ほどから土地がないっていう話でしたけれども、私は君津インターチェンジを降りた所がどうしても気になりまして、こちらが企業誘致なのか住宅地なのか考え方がありますが、もっと有効に使えないかなと考えております。それに関連して、少し飛びますが179番で、先ほど倉阪先生からもお話いただきましたけれども、一石三鳥かなと思ひまして、一番下のコメントの森林環境譲与税ですが、森林を整備してイノシシやそういったものが出ないようにできないのかと期待しておりますし、それをバイオマスで熱利用か発電なのか活用してもらって、例えば君津インターチェンジ付近に住宅地を作って再生利用エネルギーを使っていますという売りにした町を作っていけないかなと考えております。99番に戻りますが観光について斉藤委員からもありました、もっとPRすればいいところがあって来てくれるんじゃないかなと考えてます。183、184資料の訂正ございましたけれども、読んだ時にはやはり違和感を覚

えたなっというのがありました。あとは休日の相談に関して二つあったかと思うんですね185と194と185は職員の方が出ておまして、休日のため難しいということです。194は外部委託なのかわかりませんが、効果が出ているので続けますということで、働き改革で色々あるかと思いますが、工夫ができないのかなと思ってるところであります。それともう一点189番のサイクリングですけれども、これは君津だけで考えるのは難しいので、今年はツールド千葉が君津の辺りだったと思いますので、同様に他市町村と連携していけないかなと考えております。以上です

#### 【鈴木次長】

インターチェンジ周辺の整備ですが、こちらでも検討しているところではありますが規制の関係とかございますので、県を含めながらどういった手法が取れるかといったところを相談しながら進めているところがございますが、中々糸口が見つからないというのが現状でございます。インター周辺については 住宅地か企業誘致か別として、何らかの形で整備し活性化に向けて取り組んでいきたいというふうに考えております。また最後にありましたサイクルイベントですが、これは先ほどの久留里線のサイクルトレインと絡めて沿線市と広域的に連携していき、いずれは市原、大多喜やそれ以南の自治体などとも連携しながら取り込んでいきたいというふうに考えております。以上でございます。

#### 【安部部長】

それでは次に斉藤敦委員お願いいたします。

#### 【斉藤敦委員代理】

私の方から商業に関して話をしたいと思います。まず9番の「病児・病後児保育事業」ですが市民の方からキャッシュレス対応といった話が出ておまして、国の政策の中でキャッシュレス対応が事業者関係に求められていますので、市の方も色々な支払関係等についてキャッシュレス対応できるような体制を是非お願いできればと思います。いくつかはコンビニ等でお支払い出来るような体制になっておりますが、まだまだ進めることが出来るのではないかなと思って

おります。それから74番、内山支店長から話がありました通り、申請をしても時間がかかると感じております。会議所の中に金融審査会なる組織を持っておりますので、例えば、きみつの未来活力支援センターを経由しながら判断を会議所等にお任せいただくような体制も取れば、ということも考えておりますので、是非こちらも検討いただければと思います。それから76番、企業誘致ですが、これに関しましては小関委員から話がありましたように、私どもの方も君津インターチェンジ周辺の利活用について、県に昨年要望を提出し、また市にも要望をさせていただいております。今年度新たに県へ再要望の形で出させていただきますので、市でも検討いただければと思います。178番「業種交流の促進」ということで、本年度会議所の中でも広域的な交流を実施することにしております。これは学生の子達にアイデアを出して頂いて、女性の起業家の方にも来ていただいて広域的に150人ほど集めたいと考えております。その実績が出来ましたら市にもご協力いただきたいと考えております。それから再生可能エネルギー179番ですが、小水力発電を久留里の井戸水でできないかと考えております。久留里駅前の水汲み広場は水量が多くてタンクローリー10トン積むのが15分ぐらいで積めてしまうぐらいの水量だそうです。なおかつ使っている量が20%で残り80%を田んぼの方の排水路に流しているだけだそうですので、途中に小水力発電所に活用できるのではないかと思うので検討頂きたいと考えております。最後に194番ですが、是非きみコンに色々ご援助いただき、年2回やりたいなというふうに考えておりますよろしくお願ひします。以上です。

### 【鈴木次長】

キャッシュレス化といったところもございしますが、また事業の統合ですが、民間にやっていただくこと、市でやらなくてはいけないところを切り分けながらですね、総合戦略の推進にあたってはですねまあ民間いろいろな事業者との連携が重要になってくるのかなと思いますので、視野に入れながら進めつつ、相談させていただきたいなと考えております。以上です。



## 【安部部長】

それは次に齋藤委員お願いいたします

## 【齋藤佳子委員】

他の市町村でもこういった委員をさせていただいておりました、君津市の取り組みは大変丁寧な取り組みでして、素晴らしいなと思いながら読ませてもらいまして、是非君津市の活性化に協力できればと思っている次第です。まず、第一にトータルで君津市の認知をもっと上げていかないといけないのかなと思っています。私は全国転勤して君津市の存在は認識はありましたが、鉄の街のイメージでしてこれだけ農業が盛んで、自然がたくさんあることも知りませんでした。君津市は、こんなにおいしい物があって自然もあり、観光もあるところをPRしていただければなと感じました。それから、たくさん事業をされていて、基本的に9割以上は何かしらコメントさせて頂いていますのでそれ読んでいただければと思いますが、これだけの事業があるとそれぞれ縦割りでやっているとなら効果が中々出てこないのかなということも感じました。例えば、空き家対策と婚活と子供を増やすことと安心して育児ができる、といったところが課題とすれば、空き家へ20代の男性と女性の方に3年間の条件付きで格安で入っていただく代わりに、何回か自治会や防災の組織の関係などの地域活動に参加していただくのを条件で格安の家賃で入れますよとしまして、また年に2回ぐらいは住んでらっしゃる方に飲食などコミュニケーションをとれる機会を設けて、出来ればそこで結婚していただければいいところですが、そこで結婚されればお祝いを渡してですね、3年間住み終わって結婚されたらその人たち同士で結婚した人に限り5年以内にお子さんが生まれた場合は、保育園に優先して入れる権利が得られるといったことや、残念ながら子供に恵まれないのであれば、不妊治療の助成が優先されるといった、出会いから保育期間が終わるまでの総合的なパッケージで事業するのはいいのかなというふうに思っております。以上です。

## 【鈴木次長】

まずPRという所を話しいただきましたが、確かにPR不足は否めないかなと

いうところですので、PRについて市だけでなく様々な機関の皆様とご協力頂きながら、あらゆる市のPRに努めていただきたいと考えております。また事業間連携ということですが、事業が単体で動いているところもございますので、次期総合戦略の策定方針の中でも事業のパッケージ化というところで、各部署縦割りではなく横の連携を含めた中で、パッケージ化により効果が上がるような形で取り組んでいきたいというふうに考えております。

**【安部部長】**

それでは、議事4「現行の君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の進捗について」に入らせていただきます。

**【中村係長】**

～資料に沿って説明～

**【安部部長】**

事務局の説明が終わりましたので、ご意見ございましたらお願いします。

**【齋藤佳子委員】**

一点気になりました、平成28年にガクンと生まれた子供の数が減ってますし、特殊出生率も下がっていますが、平成28年に減少なので君津市で平成27年に何かあったのでしょうか。事業所がなくなったとか特徴的な出来事があったのでしょうか。

**【中村係長】**

これに関して、前のページの出生数が平成27年と平成28年と比較すると減ってる状況があるので、この減り幅が出生率と連動しているとは思いますが、原因が何かというのはもう少し調べる必要があるのかなと感じております

**【安部部長】**

出生数のご質問については、今後分析していきたいと思っております。他に何

かございますか。ございませんようですので、続きまして、その他について事務局からお願いします。

#### 【鈴木次長】

先ほど副市長からもございました、有識者会議をより効果があるようにするために、委員の皆さんにつきましては、今後も引き続きご協力頂きたいと考えております。また、現在は副市長が議長となっておりますが果たしてこれがいいのかといったことと、委員の増員といったことも事務局でまた検討させていただきたいと考えておりますので、ご承知おきの方をよろしくお願ひしたいと思っております

#### 【小関委員】

参考にしていただければと思いますが、次期戦略の策定に若手の方や女性についてアンケートなどをするとありましたが、会議に入っていただくのはどうかと思います。一つの意見として聞いていただければと思います。

#### 【安部部長】

ご意見ありがとうございます。今後の検討していく中で参考にさせていただきます。他にご意見ございますか。それでは以上を持ちまして、本日の記事はすべて終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございます。では、進行を事務局お願いいたします。

#### 【鈴木次長】

皆様には長時間にわたり色々のご意見頂戴いたしまして誠にありがとうございました。また、今後は本日頂いた意見を基に次期総合戦略の策定にあたってまいりたいと考えてございます。また、骨子が出来ましたら有識者会議で議論をできればと考えておりますが、次回の有識者会議ですが、全体スケジュールの中でお話しさせていただきましたが、9月上旬を予定しております、また改めて日程調整と行わせていただきまして、日にちを決めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。それでは以上をもちまして令和元年度第1回

君津市「まち・ひと・しごと創生」有識者会議を閉会といたします。本当に長時間にわたり誠にありがとうございました。